

令和7年度第1回 印西市市民活動推進委員会 会議要旨

1. 開催日時 令和7年4月17日（木） 午前10時～午前10時50分
2. 開催会場 印西市文化ホール 大会議室
3. 出席者 志村はるみ委員長職務代理者、岡野誠委員、小林宏委員、安倉史典委員、
矢野眞理委員、藤澤進委員、奥田信康委員、市川弘委員、棚橋明委員（以上9名）
4. 事務局 市民活動推進課・小作課長、浅山課長補佐、金子係長、諫見主任主事
5. 傍聴者 0名（定員5名）
6. 会議内容
 - 1 開会
 - 2 議題
 - （1）令和7年度企画提案型協働事業実施要領について
 - （2）その他
 - 3 閉会

7. 会議要旨

（1）令和7年度企画提案型協働事業実施要領について

《事務局説明》令和7年度企画提案型協働事業要領（案）について、令和6年度第6回印西市市民活動推進委員会の意見に基づき変更箇所を説明した。また指定テーマ型に3年以上継続提案かつ継続採択されている事業について、①プレゼンテーションを免除する②アイデア審査を免除する（他の提案者と競合しない場合に限る）。の2案について説明した。あわせて、事前にいただいた質問及び意見について回答した。

《委員質問・検討》

委員：資料1-1・3P「※応募する場合は必ず市への市民活動団体登録が必要となります。」とあるが、提案書の提出と同時に団体登録はできないのか。

事務局：団体登録を先にしてから、「協働の機会提案書」を提出してもらうことになる。

委員：資料1-1・15P「(条件を満たせば免除規定あり)」の部分について。印西市契約事務規則第26条に該当すればとのことだが、アドレスか何か記載したほうが良いのではないのか。

事務局：市のアドレスはすごく長い場合があるので、QRコードを載せるなどしたいと思う。

指定テーマ型に3年以上継続提案かつ継続採択されている事業について

委員：アイデア審査免除で良いと考える。もともとアイデア審査は事業の提案数が少なかった時代に、提案しやすくするために設けられた制度だと理解している。何度か提案しているのであれば、最終審査のみで構わないと思う。

委員：アイデア審査免除の団体も、協働の機会提案書を出す期間は5/1～6/20なのか。

事務局：お見込みのとおり。そのため遅くとも6/20までには、どのテーマにどの団体が提案しているのか、競合相手がいるのかなど判断することができます。

委員：同じテーマに複数の団体から提案があった場合は、アイデア審査を実施するという事でよろしいか。

事務局：その通りです。

委員：①プレゼンテーションを免除する②アイデア審査を免除する、2案の違いが良くわからないので、もう一度説明してほしい。

事務局：アイデア審査は、書面審査とプレゼンテーションの2項目から成り立っている。②案が採用された場合は、両方が免除される。

委員：アイデア審査が免除された場合は、書面審査もなくなるのか。

事務局：委員の皆さまに審査をしていただく過程はなくなる。しかしアイデア審査免除の場合でも協働の機会提案書や概算予算書の提出は必須となっており、事務局の方で必要要件を満たしているか、確認させていただく形にはなる。

委員：昨年初めてプレゼン免除規定を設けたと記憶している。書類のみでプレゼンを免除するかしないか判断するのは難しいように感じた。

委員：競合相手がいないのであれば、アイデア審査免除で良いと考える。

委員：私も一つの考え方として、アイデア審査免除で良いと考える。

委員：指定テーマで継続提案・継続採択されている団体が、今年度は内容を変えて提案してくるということはあるか。その内容の判断は事務局がするのか。

事務局：テーマは同じなので事業目的は変わらないと考える。しかし目的遂行のためのアプローチの仕方が変わることは考えられる。内容の変更が軽微なのか、そうではないのかについては我々で判断をし、状況によっては委員の皆さまの判断を仰ぎたいと考えている。

委員：「竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業」は後援事業ではなく、協働事業で採択されたという大義名分があるから、実施できている面もある。審査全てを免除にはできないので、最終審査は実施する必要があると考える。

委員：公園の予算でできないなら、違う方法で緑地整備はできないのか。調整池は公園ではないからとせず、何か市の切り替えが必要なのではないか。池と周辺緑地を一体で管理する方法を模索してほしい。

委員：参考として横浜市が条例で、調整池を有効利用している事例がある。印西市でも条例で定めれば、調整池の整備ができるのではないかと。

委員：話が特定の事業の内容になってしまったが、改めて①プレゼンテーションを免除する②アイデア審査を免除する、のどちらにするのか議論したい。②案を推奨する委員が多かったように思うが、②案でよろしいか。

委員：異議なし。

(2) その他

《事務局説明》

資料2に基づいて、令和7年度の市民活動推進委員会の会議スケジュールを説明した。

以上

令和7年4月17日に行われた、印西市市民活動推進委員会の会議録は事実と相違ないので、これを承認する。

令和7年5月12日

会議録署名委員 委員長職務代理者 志村 はるみ